

群衆を読み解く

～歩行者の動きに基づく属性抽出技術～

●背景と目的

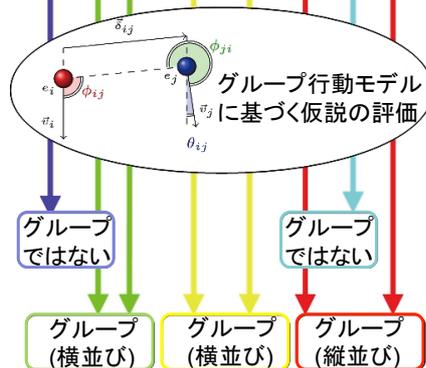
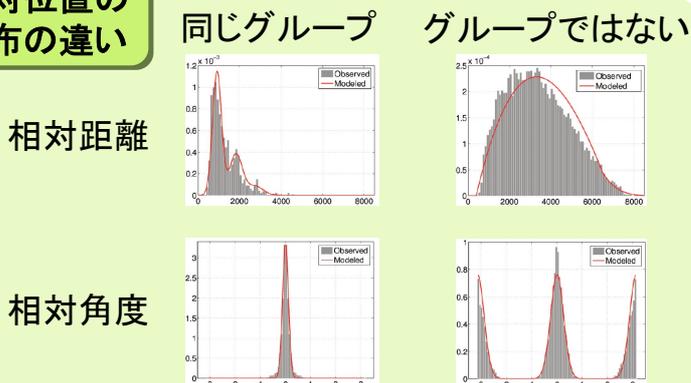
ショッピングモールなどを訪れる人々に適切なサービスを提供するためには、それぞれの人の同伴者や興味を推定することが重要です。

環境中のセンサを使って人々が移動する様子を計測し、一緒に行動するグループを推定します。また、展示品に興味を持って足を止めた様子を検出し、カメラを用いてその人が注目した対象を推定します。

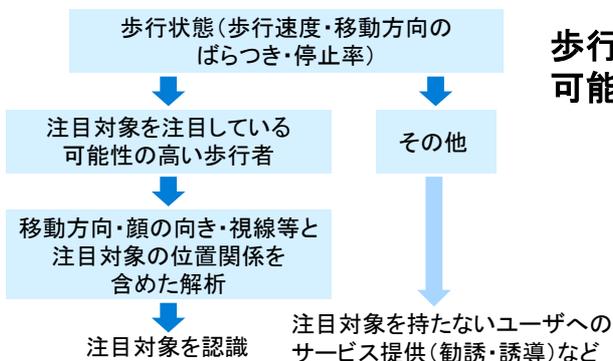
●特長 相対位置に注目したグループ推定

相対的な移動の様子から、同じグループに属するか他人かを識別します。

相対位置の分布の違い



●今後の予定 歩行状態と視線の検出を組み合わせた注目対象の推定



歩行状態の違いから、何かに注目している可能性の高い歩行者を抽出します。

		認識結果	
		注目あり	注目なし
注目対象の有無 (手動ラベリング)	注目あり	84%	16%
	注目なし	12%	88%



多人数視線推定の例

顔および視線の向きからその歩行者が注目している対象を推定し、ユーザーの興味を反映したサービスの提供につなげます。